

一般財団法人天涯文化財団
2023年度(第6期)事業計画書
自 2023年11月1日から 至 2024年10月31日

1. 事業実施の方針

第6期の事業計画につきましては新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行を受け盛田昭夫塾鈴溪資料館来場者増に向けた施策を企画、実施してまいります。積極的な広報活動、団体客の受け入れ、インバウンド対応の強化など実施してまいります。Akio Morita Club(AMC)では定例の配信に加えあらたに対話機能などを含むサイト構築を目指しチャンネル登録者の増を図ります。知多半島総合研究所、財団スタッフによる資料館所蔵品調査の成果も制限が緩和となり発表会や鈴溪資料館での展示を通じ広く情報公開してまいります。

今年3月「盛田味の館」との共催にて好評の音楽イベントも参加者拡大を図る内容に変更し第2回目の開催を11月23日(木・祝)に予定しております。

■今年度重点施策

1. 鈴溪資料館の整備及び古文書等の研究促進と成果発表の実施
(新倉調査品の展示・資料調査研究発表会の実施・11代当主命棋に関する資料展示)
2. 盛田昭夫塾運営、イベント企画・展示の充実、集客の促進
(音楽イベントの開催・14代当主命央没60年に関する資料展示)
3. Akio Morita Club(AMC)プロジェクトの推進
(盛田昭夫から多大な影響を受けた者たちの生の声を集めた映像ライブラリー、昭夫が遺した経営哲学と人間性を浮き彫りにします。インタラクティブなサイト構築を目指す。AMAIP立ち上げ)

2. 事業の実施に関する事項

- (1) 知多半島及び盛田家に由来する古文書、典籍等の研究、研究成果の公開
 - ・盛田家に残された近世初期からの古文書、典籍等を分類・整理し目録を作成する。
(日本福祉大学知多半島総合研究所との協業により実施)
 - ・鈴溪資料館にて古文書、典籍等及びその成果を一般公開する。
(常設展示に加えテーマごとの企画展示を随時開催、年1回愛知県内にて発表会を実施)
 - ・インターネット、SNSを活用し研究成果を世界に発信する。
(国際空港隣接の常滑が海外からの文化・民族研究者が集まる場になることを目的とする)
- (2) 盛田昭夫顕彰事業
 - ・盛田昭夫塾を開館し、盛田昭夫に関する資料の収集、研究を行い、その成果を一般公開する。
 - ・盛田昭夫の残した文書、映像、品々、盛田昭夫に影響を及ぼした人々に関連するセミナー及びワークショップを行う。

(盛田家15代当主に生まれながらソニー創業者となった盛田昭夫の生き様に触れられる「盛田昭夫塾」を開館。見るだけでなく「学べる場所」として未来人のパワースポットとなることを目指す)